

響音 流

HIBIKI

高田教区報

高田教区 教化テーマ

私はどこで生きているのか
～たずねよう 真宗の教えに～

2020年9月30日 第149号



上：篠原 真知子 氏 作
左：高田教区法語ポスター

先の不安を
思うより
今を
どう生きる
かが大事

五本寛文



高田教区

検索

発行所 真宗大谷派（東本願寺）高田教務所
上越市寺町2-24-4 ☎025-524-3913
<http://www.takada-kyoku.jp>

発行 橘 秀憲
印刷 永田印刷株式会社

珠

つ

な

ぎ

法

話

今回
金子次回
藤島

リレー方式の珠数つなぎで
法話をいただくコーナーです。

第1回 真宗門徒の

「たしなみ」について

第6組 最賢寺 金子 正美

「たしなみ」は辞書を見ると「心がけ」とあります。硬く言えば、何をどのようにする人を「門徒」と言うかということでしょうか。「○○」しないと門徒とは言えないというように。その昔、蓮如上人について聞法された方に越中赤尾の道宗という方がおられました。この方が「たしなみ」ということを言われました。

「一日のたしなみには、あきつとめにかかきじと、たしなめ。

一月のたしなみには、ちかきところ、御開山様の御座候

うところへまいるべしと、たしなむべし。一年のたしな

みには、御本寺へまいるべしと、たしなむべし。」と云々。

(略)

これは、蓮如上人のお言葉を主とした『蓮如上人御一代記聞書』というものに入っています。蓮如上人のお言葉に並べてお弟子さんのものが入っていることになりました。それほど道宗さんは、蓮如上人のお話を聞き、生活されたということなのでしょう。

一日、一月、一年の「たしなみ」とはそのように日常生活を送るに当たって要(中心)となるものとして何をするのかということが語られているように思われます。蓮如上人は『御文』を始めとして色々書いておられますが、道宗さんは、そのもの(こと)を教えとして受け止めて「たしなみ」を感じられたのでしょう。

私はこの「たしなみ」を生活の要として受け止め、日常の生活は「おつとめ」「正信偈」に始まって「おつとめ」「正信偈」で終わるというリズムを作ることだと感じています。一月に一度は・・・例えば「手次寺」に参り、そして出来ることなら一年に一度本山の報恩講に参るようにしたい、ということでしょうか。なかなかそうはいかないものですから、「手次」も本山に遇わせた形に日取りをしたり、ご命日の二十八に日取りをしたりしながら宗祖への気持ちを表そうとしています。

真宗門徒とは、『正信偈』をお勤めすることで、宗祖親鸞聖人と同じ方向を向いて生活する人のことをいうのだと思います。

今回は第1組 圓照寺 藤島 直さんです。



と伝えれ!

掲示

板

第5組
林覚寺編

・掲示板はいつから？

25年程前にご門徒の方の願いにより設置いたしました。

・内容変更頻度は？

毎月定例のお講（13日）のときに掲示板の法語も含めたお話をしようと思っ
ているので、月に一度と考えていますが、
間に合わないことの方が多いです。

・法語の選出方法は？

色々なところで出遇った言葉や面白い
と思った言葉を掲げています。

今回の言葉はしばらく前に出遇った言
葉ですが、新型コロナウイルス感染症拡
大の中で、より感じる事が多くなった
言葉の一つです。今回のウイルスの問題
だけではありませんが、昨今の状況下
中でまさに立ち止まらされる言葉だと思
いました。

・続けてきてエピソードがあれば

掲示伝道は皆さまにお伝えすることで
すが、言葉を選んだり、表現などを考え
ているうちに自分自身と向き合う時間

なっています。

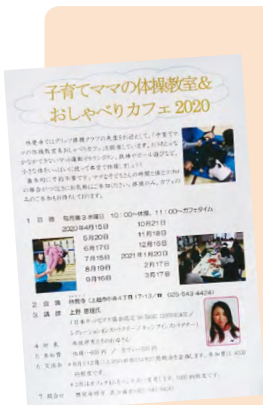
・掲示伝道における思い、工夫など

法語だけでなく地域や学校から依頼さ
れた宣伝ポスターなどを掲示することも
あります。そのことが法語に目がいく
きっかけになっていただければと思いま
す。

当たり前前な生活の中に「一石を投じ
る」。それが法語として表現されてきた
歴史なのだろうと思います。

いづどんな方が心の中で立ち止まって
いただけるかわかりませんが、掲示は続
けていきたいと思っています。

お寺では『子育てママの体
操教室&おしゃべりカフェ』
も開催しています。
問い合わせは坊守まで。



林覚寺

新潟県上越市中央4丁目17-13
TEL: 025-543-4424

門徒仏々 言いたい放題

俳優、コメディアン、歌手、ギタリスト、タレントなどの多彩な才能に恵まれた植木等は「ハナ肇とクレイジーキャッツ」のメンバーとして、昭和の東京五輪の時代に一世を風靡した。多くの歌がヒット曲として流れ、映画も製作された中で一番好きな歌に、「だまって俺について来い」がある。無責任シリーズで、ヒットした歌の一曲である。数多くのヒットの中で「スーダラ節」が最もヒットしたが、何故か「だまって俺について来い」が無性に好きである。

「ぜいのないやつあ
俺んどこへこい

俺もないけど心配すんな

みろよ青い空白い雲
そのうちなんとかなるだろう(笑声)
わかっつとるねわかっつとるわかっつとる
わかっつたらだまって俺について来い

植木等は真宗大谷派名古屋別院で僧侶として修行中に授かった。

幼い頃、父親が常念寺の住職となり伊勢神宮の近くの鄙びた村に移住した。13歳の時に僧侶としての修行をするため東京・駒込の真浄寺へ小僧となる植木等。彼が歌う「だまって俺について来い」の歌に「仏さまを信心」する志操が妙高山の伏流水のように流れているように感じている。戸籍上で昭和2年生まれとなる植木等の育った寒村の山里は、農民が粗衣粗食に耐え、東の空が白み始める頃に起き出て、夜の帳が降りるまで田圃の泥や畑の土にまみれて働いた。

まさに日常生活そのものが生の修羅場

だったと想像する。
コロナ禍と同じく、拝金主義がまかり通る現代に、新興宗教は金集めに余念がない。

阿弥陀仏に帰依する真宗大谷派のお坊さんのなかに「俺もないけど」と、さり気なく門徒で金に悩み困っている人々に、「逆布施」を出来ないものかな。出過ぎた真似の言いたい放題を捲し立てる。

酒呑童子



子どもの心をキラリと照らす

ココロ テラス



家族や友達と過ごす時間、学校生活や身近なできごとから生まれる悩みや疑問はたくさんあるね。

こんな疑問が届いたよ

仲の良い友達なのに、自分よ
りいい点数をとったり上手にでき
ることを見たりすると悔しくてた
まりません。そんな私って
ひどい人ですか。



響流寺のお坊さん、
「テラスさん」に聞いてみよう



お友達と仲が悪くなりた
いわけではないのに、お勉
強や運動で負けると悔しくて

たまらないことってあるよね。そのことを自分は「ひ
どい人」だと思った理由はなんだろう。

あの人以上に上手になりたい、早く走りたいと思う
ことは決して悪いわけではないけれども、そのこと
が悩みの元になることがあるんだよね。

学校の先生やお父さんお母さんに、「賢く優しい
人になりましょう」と教わることがあるかもしれま
せん。だけど、それが賢い人にならないといけない、
優しい人にならないといけないという風に聞こえた
ら、そのことでつらくなったり苦しくなったりする
ことがあるのかもしれないね。その苦しみから出て
きたことばが「ひどい人」ってことなのかな。

気が付いてほしいのは、「いい点数をとらなくて
も、上手にできなくても」「自分のことをひどい人
だと思っても」君を決して見捨てないひと、そして
仏さまがいるってこと。そのひとは、いつも「その
ままでいいんだよ」と君に呼びかけているはずだよ。



コトバキラリ

ぼくは ぼく

からす えいぞう

ときどき ぼくは

ほんのすこし

いろいろの はねが ほしいな と

おもったりする

ほんのすこし

いいこえで うたえたらな と

おもったりもする

でも

これが ぼくだ と

とんでいく

工藤直子『のはらうた』より

そのままの
あなたで
いいんだよ



今さら聞けない

知りたいこと

①

問

「三歸依文」について

私は、初めて三歸依文を知ったのは真宗講座受講時でした。

赤本、表紙裏に載っていますが、「三歸依文」の見出しも、赤本の目次にも記載はありません。

三歸依文について教えてください。

また、私は、三歸依文は自分に対する戒めと感じています。

答

三歸依文は、お釈迦様（釈尊）ご在世の頃から続く仏教徒としての「誓いの言葉」です。その誓いとは、「仏宝・法宝・僧宝の3つを私の宝として生きていきます」との誓いです。しかし、簡単に「三宝」を私の宝とするといいますが、その質が問題になります。実際に「あなたの宝物は何ですか？」と質問された時に、皆さん何と答えますか。正直に言えば、①家族です。②健康です。③お金です。等がベスト3の返答ではないでしょうか。

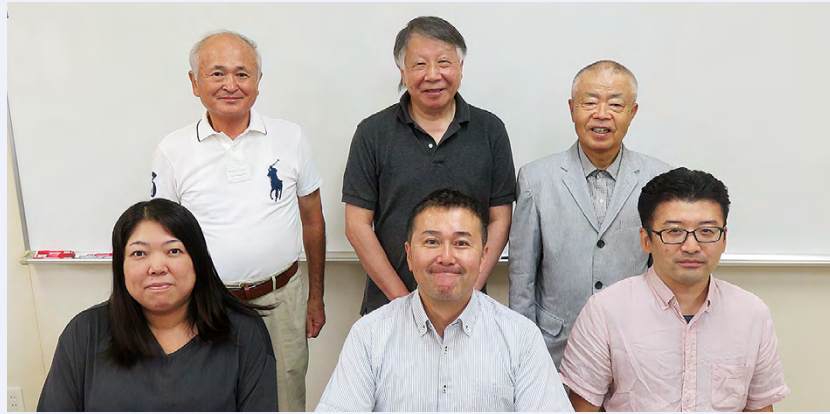
しかし、三宝を誓うというのは、「あなたの宝物は何ですか？」と問われた時に、「はい。仏・法・僧の三宝です」と答える質の誓いなのです。その「仏宝」とは、南無阿彌陀仏の法に目覚めた人、すなわち釈尊及び諸仏を指します。「法宝」は、色も形もない真理そのもの（法性・法身）が、南無阿彌陀仏という名号になって私たちを救う真実の教え「法」を指します。「僧宝」は、僧侶を宝とすると思われがちで

ですが、僧は「僧伽」の略称で、南無阿彌陀仏によって結ばれた人々の集まり、親鸞聖人の言葉で言えば「御同朋・御同行」を指します。そしてこの三宝は、並列的にあるのではなく、安田理深氏の教えに依りますと、「仏宝・法宝に本当に帰依すれば僧宝に帰依する者となる」と言われます。分かりやすく申し上げますと、「仏宝・法宝への帰依は、隣でお念仏するおじいさん・おばあさんに頭が下がる存在となる」ということであります。

この「三歸依文」は、大内青巒（一八四五年～一九一八年・明治期から大正期における仏教学者）の草稿による仏教連合会の創設文であり、日本の仏教各派共通のものであります。釈尊のご在世の頃より、私のところまで引き継がれてきた「三宝歸依の精神」を共に大切に、後世に引き継いでいきたいものがあります。（駐在教導 松岡 雅則）

悦

伝道広報部門の仲間たち



【部門長】
上宮 崇 (第2組 善正寺 住職)
 担当コーナー「ネットDE仏教」

清澤 明 (第8組 勝名寺 門徒)
 担当コーナー「門徒仏々言いたい放題」

【部門長】
淀野 壮介 (第6組 真宗寺 住職)
 担当コーナー「じいさんと伝われ掲示板」

松野 容平 (第11組 一念寺 住職)
 担当コーナー「珠数つなぎ法話」

深井 宏隆 (第6組 最尊寺 門徒)
 担当コーナー「今さら聞けない知りたいこと」

【副部門長】
浅山 加奈 (第7組 勝福寺 坊守)
 担当コーナー「ココロテラス」

一人でも多くの方に手に取っていただける教区報発行のために一致団結して楽しく仲良くがんばります。ご意見、ご要望もお待ちしておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

響流川柳

さあ ひごろのうつ憤を
 川柳を作り
 晴らしてみても
 いかがでしょう。
 応募作品をお待ちしております。

カーナビに
 返事してたと 妻笑い

東京、冬の夕暮れ。
 叔母の弔問に通夜へ。
 初めて向う斎場への道行き。
 知らぬ街。知らぬ道。
 頼りにならない同乗者。
 やつと間に合った安堵の車内で。

オンライン

コロナ禍故に いただく縁
 以前勤めていた会社の同期と「Zoom」でオンライン飲み会に参加する機会がありました。年一〇回遠く足を運んで会っていたりしますが、コロナ禍で飲み会の自粛が続く状況で始まったオンライン飲み会というものが、遠くの人間も気軽に参加できるという良さもあって、こうした縁があるんだなと思いました。

赤本を

今朝も読みつつ
 おれ門徒

水不足

予想していたのは
 花見頃

嫁いらぬ

観音と枕
 寝る夜かな

蚊帳の外

妻から逃げず
 意地を張る

コロナ禍で

気づいたもどより
 偏見禍

【呪恩 斗羅舞流多】

【明誓】

【宏富】

聞思学場だより

「善き師に導かれて」

第13組 龍覺寺

春日 暁子

大学の卒業論文のテーマが「聞思」だった。

大学4年の冬休み、帰省せずにアルバイトで一人、年越しそばを食べながら、必死にレポートを仕上げたことを思い出す。詳しい中身は忘れてしまっただが、聞思することを学ぶ姿勢の核心に据えて、善き師と出遇い、聞法し続けていきたい…というようなことを書いた気がする。

以来30数年、『真宗聖典』を開くことはおろか、大学での学びを確かめることもなく日々を過ごし、法務に携

わってきた。そんな私を今一度、学びの場に向かわせたのは、井上円先生(第13組浄泉寺)の存在である。先生とは同じ組内寺院、法中寺院つながりで日頃からお付き合いがある。特に、前住職(父)亡き後は、何かにつけて相談にのっていたいたり、悩んでいる時は黙って話を聞いてくださったりと、大変お世話になっている。そこに

間をやっているのではない」という先生の言葉が心に響いている。「浄土真宗を学び、寺に身を置いている一人の人間として、あなたは目の前のご門徒さんとうまく向き合っていますか。何を伝えていくのですか。」「『阿弥陀経』の講義を通して、先生は常にそんな投げかけをしてくださっていたのではないだろうか。

3年間の研鑽を終えた今、先生の問いかけを十分に受け止め切れていない自分がここにいる。聞法聞思するということとは、一度、仏法を聞思して、わかったからそれで聞法聞思が終了、卒業することではない。聞法したことをさらに、この身のうえに確かめていくことである。

これからも先生を善き師と仰ぎ、聞思し続ける歩みを進めていきたい。

講義の内容は、当然のことながら私にとっては難しく、厳しいものであった。消化不良のままの事柄もたくさんある。反面、教えられたことも多い。「人間が坊主をやっているのだ。坊主が人



愚僧のつぶやき

〈真宗の葬儀編⑨〉

枕勤めが終わると、納棺となります。

この際、改服となりますが、大事なことは、必ず手にお念珠をかけ、首に略肩衣をかける事です。この二つは、真宗門徒に与えられた大切な装束であります。

まずお念珠ですが、元々は僧侶の持ち物ではなく、在家信者の為にお釈迦様と与えられた物なんです。昔、ハルリ王という王様がお釈迦様に尋ねます。

「釋尊よ、あなたの教えは尊いが、すぐにそれを忘れてしまうこのころの弱い我々は、どうしたらよいのか。」

「大王よ、ならば木楳子（もくげんじ）の木の実を百八つ繋いで、常に手に持って仏法僧の御名を唱えよ。」

それを聞いたハルリ王は非常に喜び、

お念珠を千連作らせて民衆に与え、ご自分も常に手に持って仏法僧の御名を唱えたと伝えられています。

ただ私、一つ疑問に思ったんです。なぜ僧侶の持ち物でもないお念珠が、遠く離れた日本にまで伝わったのかなあと。そこで色々調べてみましたら、親鸞聖人が七高僧の一人として仰いでゆかれました中国の道綽様のご恩がある事が分かったんです。道綽様の生きた時代の中国では、もの凄い仏教弾圧が行われていました。お寺は没収され、仏像は壊され、經典は焼かれ、僧侶三百万人が俗に戻されたといえます。まさに、中国から仏教が消えてしまうのではないかと思われる程の仏教弾圧であった訳です。そんな中、道綽様は、たとえ仏像や經典が無くなくても、お念仏一つが残っていれば仏教の火が消えることはないのだと、お念仏一つを命がけで守り残さんとされた訳で

す。具体的には、当時どのご家庭にもあった小豆を袋に入れて持ち歩き、阿弥陀様のお救い話された後、袋の中から小豆を一粒一粒地面に並べたら「ナムアマミダブツ」とお念仏を申したんです。そのうち、道綽様の行く所、大人も子どもも手に小豆の入った袋を持って集まり、道綽様と一緒に小豆を並べたらお念仏申す様になります。その後、道綽様は小豆に糸を通してお念珠を作り、更にお念仏を引めてゆかれました。

つまり道綽様は、お釈迦様がお念珠を与えて「仏法僧の御名を唱えよ」と仰ったお心を、「南無阿弥陀仏を称えよ」と頂いて下さった訳です。ですから、真宗門徒にとってお念珠とは、「我をたのめ、必ず救う」という阿弥陀様のお呼び声を忘れない為の物と頂く事でありませう。

ペンネーム 維摩教信

拜啓
通信員より
ねほりはほり

色んな事に関心が薄いので、通信員として明らかに適性を欠いております。我を張って組長を困らせては申し訳ないという人道主義の観点から、お引き受けした次第です。みなさんにはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



第8組
明岸寺 法隆 光昭

4組の教化活動、公開講座など教区の皆様に広くお伝えできればと思います。
よろしくおねがいします。



第4組
養性寺 内山 真明

なるべく自然科学にふれ、人間尊重に迫ればと思っておりますが、コロナでちょっとだけ酒計・酒事に戻ってます。



第11組
光圓寺 竹内 淳一

通信員となりました5組の居多と申します。
第1期ということでわからないことも多いのですが、組内の様子をお届け出来たらと思っております。よろしくお願いたします。



第5組
聽信寺 居多 啓

第1組の通信員を拝命いたしました。正直なところ、この仕事は若い人に任せるのが良いのではないかと思っています。それでも引き受けた仕事です。『響流』がより多くの方に手に取っていただけるよう、微力ながら頑張っております。



第1組
光照寺 梅澤 謙吾

通信員を拝命いたしましたが高齢かつ非力の為、皆さんの足手まといにならないかと心配しております。よろしくお願いたします。12組では9月7日の坊守会主催「仏花講習会」を皮切りに活動が始まりました。10月3日(土)には尾神岳報尽碑清掃法要(野外活動)が行われます。ご参加下さい。



第12組
善立寺 山越 英隆

何事もビジョンが見えないと、不安だったりしますよね。今回は見えないからこそ、自由に前向きに努めてまいります。よろしくお願いたします。



第6組
福成寺 鎮西 広円

この度、響流通信員を拝命した鈴井です。自坊は、高田教区第2組に属する糸魚川市早川地区で、田んぼに囲まれた静かな地で妻、長男、母の4人で暮らしています。よろしくお願いたします。



第2組
常圓寺 鈴井 祐恭

私は自坊に帰ってから一年しか経っておらず、まだ教区のことをよくわかっていない状況です。なので通信員を通し、様々な方と出会うことで教区の詳しい様子や活動を学んでいきたいと思っています。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、皆様方のお役に立てるよう努めたいと思っております。よろしくお願いたします。



第13組
福浄寺 井上 立英

1973年上越市西城町、光照寺の二男として生まれ、関根学園、京都大谷専修学院、大阪創造社デザイン専門学校を経て、(株)山岸スタジオ入社。帰郷後、小熊写真館に勤める。2011年妙高市除戸、願生寺へ養子として入り現在に至る。

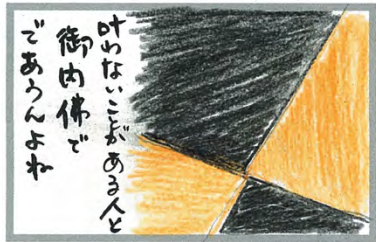
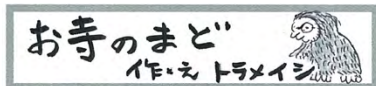


第7組
願生寺 平出 文勇

通信員をさせていただく高橋です。高田別院の列座をしています。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願いたします。



第3組
正光寺 高橋 良暁



教区ホームページ運動企画

『響流』～WEB版～

ネットDE仏教



新型コロナウイルス感染拡大により、人と人が集う機会が失われている今、インターネットを活用した教化が重視されています。現在インターネット上においても、様々な仏法に触れる機会が得られます。今回新しく教区ホームページ上に『響流』～WEB版～のコーナーを設け、「ネットDE仏教」と題した記事を『響流』発行に合わせて更新して行く予定です。まずは、パソコンやスマホで高田教区のホームページにアクセスしてみましょう。

今回の記事：**第1回** 法話配信を視聴しよう！

〈高田教区ホームページアドレス
⇒ <http://takada-kyoku.jp>〉



こもれび

新潟県見附市役所の公式Facebookに投稿された漫画をご存じだろうか。タイトルは『安心して感染したい』である。以下にセリフのみを載せる。

「狭い町で噂になるから一人目の感染者にだけは絶対になりたくないわ」とか。

「感染したってわかったらこの町ん中ですぐに村八分にされんぞ」とか。

「感染なんかしたら『あの人！』って後ろ指さされちゃう」とか。
「もう町中どこでも周りから陰口叩かれてこの町に住めなくなる」など。

誰もが感染する可能性がある中で、こんな声を聞くと「噂するの村八分にするのも後ろ指さすのも陰口を叩くのもウイルスじゃない。この、『ひと』なんだよなあ」と、思う。

見附人として互いを想い合う温かい「ひと」でありたいと願う。

やっぱりわれわれの課題は「ひと」であるようだ。不思議な言葉だが『安心して感染したい』と心から思う。
(淀野)

みなさまの声をお聞かせください

『響流』に対するご意見、ご要望をお寄せください。また、「コロナテラス」、「響流川柳」、「今さら聞けない知りたいこと」の各コーナーにご応募お待ちしております。高田教務所に設置した受付箱、または下記メールアドレスにて受け付けております。
より多くの方に手に取っていただける教区報にするために皆様のご協力をお待ちしております。

高田教務所(響流担当宛)
takada@higashihonganji.or.jp